



## タイの電気自動車(EV)について

北陸銀行 国際部  
バンコク駐在員事務所  
吉田 雄司

## 1. はじめに

平成29年9月11日～13日、JETRO主催のタイ経済ミッションが開催され、日本から600名の企業関係者がタイを視察しました。当行も「富山県・北陸銀行合同ミッション団」として21名の地域視察団を組成し、同ミッションに参加しました。

同ミッションの目的は、タイが現在最も力を入れている成長戦略「タイランド4.0」について理解を深めてもらい、投資を誘致する事にあります。「タイランド4.0」では、特に成長が見込まれる以下の10の分野を積極的に海外から誘致し、呼び水として大胆な税制優遇など魅力的な恩典を用意しています。

## 【ターゲット10大産業】

- |          |                |
|----------|----------------|
| ・次世代自動車  | ・バイオ燃料、バイオ化    |
| ・産業用ロボット | ・スマート・エレクトロニクス |
| ・航空      | ・デジタル          |
| ・医療      | ・メディカルツーリズム    |
| ・農業、生物工学 | ・食品、食品加工       |

今回は、その中でも特に日系企業が注目している「次世代自動車」についてお伝えします。

## 2. 注目される電気自動車 (EV)

次世代自動車には、HV車(ハイブリッド車)、PHV車(プラグインハイブリッド車)、EV(電気自動車)、FCV(燃料電池自動車)がありますが、タイ現地の新聞で最も目にする機会が多いのが、EV(電気自動車)です。

2016年9月までのタイ国内電気自動車登録台数は52台と、日本の電気自動車が2015年末時点で既に62,134台を数えている事に比べると、未だごく僅かです<sup>(※1)</sup>。しかしながら、タイ政府は、2036年までに電気自動車(EV)120万台の普及目標を設定し、前述の「タイランド4.0」の政策により電気自動車(EV)関連の外資誘致に積極的に取り組んでいます。

(※1) タイの国内電気自動車登録台数：バンコクポスト調べ

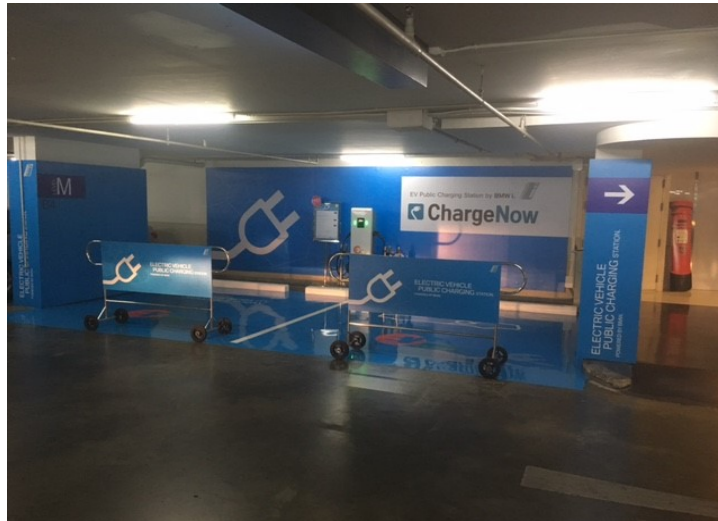
日本の電気自動車保有台数：一般社団法人 次世代自動車振興センター調べ

### 3. 充電スタンド

タイ政府の電気自動車 (EV) 120万台普及計画達成のためには、充電スタンドの充実が重要な鍵となります。2017年3月現在、タイ全土に設置されている充電スタンドは、わずか29ヶ所です。

タイの上場企業エネルギー・アブソルート社は、2017年8月現在、バンコク中心部2ヶ所で充電スタンドを試験的に設置していますが、2018年には給油所を展開する SUSCO社と提携し、タイ全土に充電スタンドを1,000ヶ所設置するという計画を発表しました。

また、国営のタイ石油公社 (PTT) は、2016年末現在、6ヶ所ある充電スタンドを2017年末までに20ヶ所に増やす計画を打ち出しています。



【バンコク市内商業施設の充電スタンド  
BMW社が提供：本人撮影】

### 4. 全トゥクトゥクEV化

タイ・エネルギー省は、平成29年10月4日、タイ全土で22,000台ある三輪タクシー「トゥクトゥク」を2022年までにEV化すると発表しました。まずは、2018年度中に補助金を投入し、100台をEV化する計画です。



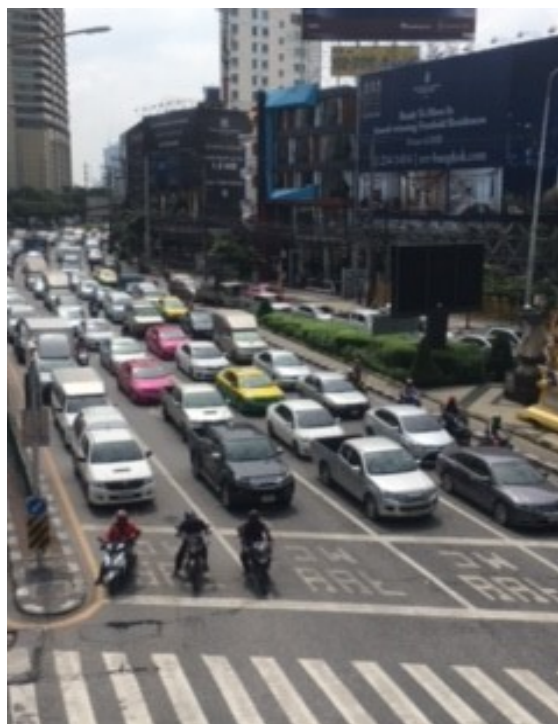
【バンコク市街を走るトゥクトゥク：本人撮影】

## 5. おわりに

バンコク市内の車の多さ、そこから排出される排気ガスの問題は深刻で、タイ政府も環境汚染の改善に向けて躍起になっています。現地ではここ最近、頻繁に電気自動車に関する新聞記事を目にする様になり、転換期に差し掛かっている事を肌で感じています。

今後も有益な情報をお伝えできるよう、情報収集に努めて参ります。

以上



【バンコク中心部の交差点：本人撮影】

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださるようお願いいたします。

**ほくりく長城会**

**海外ビジネス情報**

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局  
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F  
(株)人材情報センター内  
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565  
E-mail: info@chojo-hokugin.jp